

9月の行事予定

2019(令和元)年 8月19日

◆夏休み終了～運動会まで13日!◆

夏休みが終わり、各教室・廊下からは「久しぶり!元気だった?」「先生、夏休みに○○に行ってきたんだよ」「作品は何を作ったの?」などといった子供たちの元気な声が聞こえてきます。また、本日から「夏休み作品展」が始まり、全校の子供たちの力作が中央廊下をにぎわせています。

夏休みが終わったばかりですが、運動会まで残り13日、登校日はわずか9日です。これからこの9日間、グラウンド・体育館では毎時

間各学年の熱のこもった練習が繰り返し行われていきます。また各学年の種目はもちろんのこと、紅白リレーや応援団、チア、各委員会の活動と学年・学級の枠を超えた取組も進められていきます。

さらに、今年が開校50周年記念事業と関連させた種目(全校種目やPTA種目)でお祝いムードも高めていく予定です。皆さんで9月1日(日)が快晴になることを祈りましょう!!

日	曜	行 事 等
1	日	●開校50周年記念 大運動会 ●夏休み作品展終了 ●スクールカウンセラー来校
2	月	●振替休業日(運動会)
3	火	●附属運動推進日 ●夏休み作品持ち帰り ●秋の希望者対象個人面談希望用紙配付 ◆給食カット→弁当持参日 ◆運動会後片付け(5年生:1時間目)
4	水	●短縮午前5時間授業(公教研のため)
5	木	●総合避難訓練 ★会議(15時40分~17時頃)
6	金	●短縮午前5時間授業
7	土	●くしろの子ども大集合
8	日	
9	月	●基礎実習開始 ●代表委員会 ◆運動会写真インターネット販売プリント配付(閲覧期間:10~23日, 払込締切:24日)
10	火	●朝読書 ●チャレンジテスト(6年生:1, 2時間目附中へ)
11	水	●登校班会議 ●市P連母親委員会(コアがやき) ★会議(15時40分~17時頃)
12	木	★会議(15時40分~17時頃)
13	金	●児童委員会 ●基礎実習終了 ○附中前日祭 ●学年通信発行 ●秋の希望者対象個人面談希望用紙提出締切
14	土	○附中文化祭
15	日	○附中体育祭(※附小駐車場使用) ■9月の生活目標 自分の役割を果たし、みんなで協力しよう ■給食指導の重点 好き嫌いをなく食べよう(運動と食べ物について考えよう)
16	月	祝 敬老の日 ○附中体育祭予備日
17	火	●朝読書 ●読書賞集約(20日まで) ●運動大好きプラン~鉄棒チャレンジ期間~(27日まで)
18	水	●5-1 阿寒湖畔自然体験活動 ●食育の日(6年生) ●市P連広報情報部会(コア鳥取)
19	木	●5-2 阿寒湖畔自然体験活動
20	金	●教育実習I終了 ●5年生阿寒湖畔自然体験活動予備日 ●秋の希望者対象個人面談日程確定版配付
21	土	
22	日	○附属南町内会運動会(附小グラウンド:午前中)
23	月	祝 秋分の日
24	火	●朝読書 ●読書賞授与(27日まで) ●美化美化ウイーク(27日まで)
25	水	●2-1 阿寒湖畔自然体験活動
26	木	●2-2 阿寒湖畔自然体験活動 ●給食費, PTA会費引落日
27	金	●前期終業式 ●通知表発行 ●学年通信発行
28	土	
29	日	※附属南町内会運動会予備日
30	月	秋休み
[10月の主な行事]		
● 1日(火) 後期始業式, 短縮午前5時間授業 秋の2計測期間開始, 希望者対象個人面談期間開始	● 10日(木) 参観日(高)	
● 2日(水) サイエンスルーム(6年:遊学館) 2年阿寒予備日	● 16日(水) 4年1組阿寒湖畔自然体験活動	
● 4日(金) 2年阿寒予備日	● 17日(木) 4年2組阿寒湖畔自然体験活動	
● 8日(火) 参観日(低)	● 21日(月) 短縮午前5時間授業	
● 9日(水) 参観日(中)	● 23日(水) 秋のセミナー(小:図工・理科公開) *下校時刻等詳細は後日文書配付	
	● 24日(木) 4年阿寒湖畔予備日	
	● 25日(金) 4年阿寒湖畔予備日	

未来の先生を育てる「教育実習」

北海道教育大学釧路校では、卒業後に即戦力として活躍できる教員を養成するために、

- へき地小規模校体験訪問：1年生が新入生研修として行う。
- 教育フィールド研究Ⅰ：1年生が子供たちとの関わり方や子供理解について学ぶ
- 教育フィールド研究Ⅱ：2年生が授業観察のポイントや学級づくりについて学ぶ
- 教育実習Ⅰ（主免実習）：授業の展開や学級経営について実践的に学ぶ

と、入学直後から卒業までの間に1000時間を越える現場経験を積み重ねられるよう、体系的に「教育実習」をカリキュラムに位置付けています。

また、上記に加え、小学校、中学校、特別支援の3つの免許の取得を奨励していることから、「教育実習Ⅱ（副免）」、「特別支援学校実習」、「へき地校体験実習」等を選択できるようにしています。

そして、学生たちは、「教育実習前CBT」という、最低限身に付けておくべき基礎的な知識や技能等についての検定試験を受けてから、教育実習に臨みます。

これらの取組は、教員採用試験の合格率にもつながっていると同時に、文部科学省をはじめとした関係機関、学校現場から高い評価を得ています。

本校は、附属学校ですから、これらの教育実習を受け入れることは当然の使命です（本来は、全員を受け入れるべきなのかもしれませんが、それは無理なので、釧路市内を中心とした公立校にも御協力をいただいています）。

学級担任にとっては、授業づくりや学級経営等について指導することが、自身の実践を見直すことにつながったり、いつも以上に観られているわけで、少しだけ緊張感をもったりします。

子供たちにとっても、学級担任以上にフレッシュな先生が、一生懸命授業をしたり、一緒に遊んでくれたりすることで、楽しい期間になるようです。毎年、最終日には、低学年の教室から別れを惜しむ泣き声が聞こえてきます。

保護者の皆様におかれましては、教育実習の意義、そして本校の使命について御理解をいただきますようお願い申し上げます。